教育委員会だより　　地域の中で　仲間と共に　自分を磨く　　令和８年　９月２９日

# ああ　遠くの空は　晴れている



ＮＯ３６　　南箕輪村教育委員会

今回は、図書に関する２つの情報です。

## 1　「科学の本」が「こども館」にたくさん入りました　（松井寛二さんからの寄贈です）










## 2　小中学校で、図書委員が「ミニ選書会」を行いました

### （1）選書会の趣旨（選書会ってどんなこと？）

図書館に入れる本の選択を、**一部分児童生徒に委ね、自分で読んでみたい本を１冊選ぶことのできる会**のことを「選書会」と呼びます。**体育館等の広いスペースに６００～１０００冊以上の本を平置き**し、**表紙が見える状態の中で**、一定時間、選書する活動を行い、**最終的に自己選択した図書が図書館に入るシステム**です。

○　たくさんの本の中から迷いながらも１冊に決めるという**責任ある選択を経験**できる。
○　友だちと選書が重なった時にどう対応するか、折り合いをつけることを学ぶ機会がある。
○　友達の選書を知ることで、友達に対する見方が膨らむとともに、お互いの個性を感じることができる。

といった、いくつかの価値がある学習活動です。

さらに

○　読後の感想をポップにまとめて紹介し合うなど、事後の活動の充実にもつながり、総じて読書に対する興味・関心が高まります。
○　本を並べる作業・納める作業に、保護者や地域ボランティアが参加することで、学校と地域の連携の一端を担うこともできる活動です。

### （2）「ミニ選書会」の様子・・・本年度は、試行期間であり、各校の図書委員が実際に選書を体験しました。

南部小　6/16





南小　6/18







南小　6/19

